



令和7年度 石岡市立府中中学校 グランドデザイン

校訓：自律 誠実 素直

本県教育の目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる

めざす生徒像

- 日常生活を大事にできる生徒
- 仲間とともに感動できる生徒
- 自ら学習できる生徒

学校の教育目標

心を磨き、共に考え、自ら実践する生徒の育成

学校経営の理念

夢に向かって 仲間ときらめき ふるさと愛にあふれる学校

- 子どもが主役の学校づくり
「一人一人を認め・生かし・仲間と共に伸びる」
- 教職員と組織が伸長する学校づくり
「一人一人がよさや能力を発揮し、組織として前進」
- 保護者・地域と共に歩む学校づくり
「地域のよさを十分に生かし、学校を誇りとする」

石岡市教育大綱

基本目標

- 「ふるさとに学び 夢にはばたく 輝くひとづくりのまち」
- 自律・協働・自他の尊重

めざす教師像

- 生徒、保護者、地域住民から信頼される教師
- 生徒の心に寄り添い、共に語り合える教師
- 授業を大切にできる教師

組織目標

- ・自己肯定感や自己有用感を実感し共に伸びようとする豊かな人間関係の醸成
- ・生徒同士が協力し合い、共に学びを深めるための協働的な学びの推進

研究テーマ 自ら学びに向かい 共に学びを深め「学びに向かう力」を育成する授業づくり
～学習の目標を理解し、計画と見通しをもって、その過程や達成状況を評価して次につなげる指導の工夫～

「コミュニティ・スクール」

★ミッション：「ふちゅう」・「府中」応援団と共に歩む、地域から愛される学校
【教職員・保護者・地域】

- ① 地域人材・各種団体等との情報・行動連携による「学校運営協議会」を巻き込むプロジェクトチームの確立
- ② 教員・人事評価を活かした、働き方改革から働きがい改革へそして生きがい改革への転向
- ③ 3ない運動+2(飲酒運転・体罰・ハラスメント・個人情報・金銭)の徹底を図るエモーショナルコンプライアンスの推進

☆評価

- ①学校は、学校支援応援団と共に、地域から愛される学校づくりに努めている。(学校運営協議会評価A)
- ②プロジェクト方式による業務の査定と改善を行えたか(在校時間調査 年3回・時間外勤務月80時間0%・各種通信等時間 50%以下)
- ③学校事故「ゼロ」を目指す集団であったか(教職員評価90%)

A 「こころ」プロジェクトチーム 【特活・道徳】 + 【行事】

★ミッション

個と集団の往還による体験活動を重視し、心理的安全性を実感する豊かな心の育成

- ①話し合い活動を生かした共感的な人間関係を築く学級集団づくり
- ②全校道徳を通して道徳的価値を理解し道徳的実践力の高揚
- ③体験的な活動をしかけ、企画力を高める生徒支援の充実
- ④未来につなげる3年間を見通した系統的なふるさと学習の実施

☆評価

- ①話し合い活動により生徒の集団意識を高まった (職員 90%)
- ②他人の意見を聴き道徳的な自己決定ができた (生徒 85%)
- ③行事を振り返り、主体的で満足度が高い (生徒・職員 80%)
- ④ふるさと学習により、地域愛にあふれる生徒を育成している (学校関係者評価A)

B 「まなび」プロジェクトチーム 【学力向上】 + 【キャリア】

★ミッション

個々の生徒のニーズに応える授業で学びに向かう力を付け未来を創造する実践力の育成

- ①振り返り活動を通じた学習意欲の向上(エビングタイムの継続)
- ②ガイダンスの充実と見通しと振り返りを重視した授業改善
- ③学び続ける重要性和時代の変化に柔軟に対応できる力の育成
- ④地域人材を活かした機動力のある教育活動の実践

☆評価

- ①エビングタイムを効果的に実践できた (職員 80%)
- ②学習目標の理解と計画、見通し、評価ができた (生徒 70%)
- ③課題設定や解決の取組により自力解決能力が高まった (生徒 90%)
- ④各種応援団活動が機能し教育活動が充実した(学校関係者評価A)

府中！夢中！熱中！「煌めき」

C 「すこやか」プロジェクトチーム 【保健・安全】 + 【生徒指導】

★ミッション

自立と共生を目指し、多様性を認め合う教育環境で育む自己指導能力と自己管理能力の育成

- ①物と心の環境整備に努め、生徒個々の健康的な生活習慣の育成と危機管理能力の高揚を図る体験的な教育活動の充実
- ②QUテスト及びSGE等を生かして生徒の実態把握に努め、多様性を認め合い自己指導能力を育成する特別活動の充実
- ③インクルーシブ教育システムの構築を図り、心理的安全性を実感できる特別支援教育の充実
- ④人権意識を高める教育活動の工夫と、自律と協働を土台とした自他の尊重を目指す豊かな人間関係づくりの推進

☆評価

- ①日常の安全管理を基に生活環境を整え、生徒の健康的な生活習慣を育むことができるよう努めている(学校関係者評価A)
- ②共感的な人間関係を築く学級集団づくりに努め、QUテストで学級生活満足群が向上している(6月→12月：+5%)
- ③インクルーシブ教育の重要性を理解し、一人一人の夢の実現に向けて良さを引き出す場を設定した(職員 90%)
- ④相手の立場や意見を聴き、ともによりよい生活を送ろうとしている(生徒 90%)